

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2014-179594(P2014-179594A)

【公開日】平成26年9月25日 (2014.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-052

【出願番号】特願2014-22506(P2014-22506)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/00 (2010.01)

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 J

H 0 5 B 37/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月21日 (2016.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直列に接続された 1 つ以上の半導体光源素子を含む第一の光源回路と、

直列に接続された 1 つ以上の半導体光源素子を含み、前記第一の光源回路の低圧側において、前記第一の光源回路に対して接続部を介して直列に接続された第二の光源回路と、

前記第一の光源回路および第二の光源回路の直列接続回路に電源電圧を供給する電源回路と、

前記第一の光源回路および第二の光源回路が取り付けられる導電体と、を備え、

前記接続部が前記導電体に電氣的に接続されて接地された半導体光源装置。

【請求項 2】

前記接続部は、前記第一の光源回路と前記第二の光源回路との間に直列に接続された電流検出用抵抗を含み、前記電流検出用抵抗と前記第二の光源回路との接続点が前記導電体に接続されて接地された、ことを特徴とする請求項 1 に記載の半導体光源装置。

【請求項 3】

前記接続部は、前記第一の光源回路と前記第二の光源回路との間に直列に接続された電流検出用抵抗を備え、前記電流検出用抵抗と前記第一の光源回路との接続点が前記導電体に接続されて接地された、ことを特徴とする請求項 1 に記載の半導体光源装置。

【請求項 4】

前記電源回路と前記第一の光源回路との間に電流検出用抵抗が直列に接続される請求項 1 に記載の半導体光源装置。

【請求項 5】

前記電源回路と前記第二の光源回路との間に電流検出用抵抗が直列に接続される請求項 1 に記載の半導体光源装置。

【請求項 6】

前記電流検出用抵抗に流れる電流を検出する電流検出回路をさらに備え、

前記電源回路は、前記電流検出回路の出力に基づき、前記第一および第二の光源回路に供給する電源電圧を制御する

ことを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の半導体光源装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の半導体光源装置と、
前記半導体光源装置からの光を透過させる光学系と、
前記光学系を通して受けた光を映像信号に応じて変調して出力する変調装置と
を備えたことを特徴とする投写型映像表示装置。